

児童朝会 校長の話 12月6日

先週の金曜日と土曜日に学芸会が行われました。皆さんは学芸会を通してどんなことを学びましたか。

人の前で演技するのが得意な人は自分の特技を生かして自信をつけたでしょう。人の前で演技するのが苦手な人は、初めのうちは辛かったでしょうが練習しているうちにできるようになり、自信をつけられたかも知れませんね。また、皆さんは本当に一生懸命練習を積み重ねました。そして学芸会を成功させる事ができました。やり遂げた達成感を感じることができたでしょう。また、学芸会は一人ではできません。いろいろな役の人がいるし、演技だけではなく、道具をつくったり、衣装をつくったり。さらに道具を出したり引っ込めたり、照明を当てたり効果音や音楽を流したり。いろいろな役割をみんなで分担し、力を合わせて創り上げます。創り上げる喜びを感じることができののではないのでしょうか。そして、皆さんの劇を見ていると日に日に上達していました。きっと友達の演技を見て上手だなあ、自分もまねしてみようと思ったり、他の学年の劇を見てすごいなあ、自分も同じように工夫してみようと思ったりしたのではないのでしょうか。友達から学んでお互いに高め合う素晴らしさも感じたことでしょう。

さて、1年生から順番にどんな劇だったか振り返ってみます。



1年生の劇は「かいけつベジトラブル」 大きな声で元気いっぱい演じましたね。野菜にはどんな大切な栄養があるか教えてくれました。そして、野菜を好き嫌いして残してはだめだという事が全校のみんなに伝わりましたよ。

2年生は「まん月踊り大会」 見事な踊りでしたね。うさぎさんチーム、たぬきさんチー

ム、おおかみさんチーム、どこもキレイのかっこよい踊りで、どのチームが優勝するのかドキドキしました。そして、本当の競争とは、一生懸命練習をして正々堂々と競い合うことだと教えてくれましたね。



3年生は「西遊記」 孫悟空たちが、三蔵法師のお供をしながら大切な巻物を取り戻すお話。出てくる妖怪と次々に戦い、孫悟空が楽しい術を使って倒していきました。ハラハラドキドキしながら孫悟空の冒険の世界に引き込まれました。学年全員で創り上げた世界でしたね。

4年生は「本当の宝物は」 ユニークな国が次々出てきて、その個性的な特徴をとっても上手に演出していて大笑いしました。本当の宝物は、知恵のあるお年寄り、汗水流して働く人たち、そして未来の宝「子供」でした。本当に大切なものは何かを教えてくれましたね。



5年生は落語劇「寿限無」 細かい隅々まで、笑いを誘うように工夫していました。そのアイデアとユーモアが最高でした。5年生全員で知恵を合わせて笑いの世界を表現していました。

6年生「走れメロス」 人を信じる心を失ってしまった国王。メロスは親友セリヌンティウスを人質に3日間のうちに帰って来ると国王と約束をしました。メロスは命がけで走り、ついに帰っ



てきました。真の友情と信じ合う心が国王の心を改心させました。迫真に迫る演技で、大きな感動を届けてくれました。最後に歌った「命の歌」の美しい歌声は、今でもみんなの心の中に響いていると思います。

そして、6年生は体育館の舞台作り、準備、全学年の大道具の出し入れや照明、当日の放送、体育館の掲示など、様々な仕事を行いました。学芸会を成功させるために多くの役割を担い、やり遂げました。片付けは5年生がやってくれました。土曜日皆さんが帰った後、一瞬のうちに全て元通りに片付けました。浅草小学校の高学年の素晴らしいところは、大変な仕事も進んでやるところです。先生に言われなくてもどンドン働いていました。そんな5年生、6年生がいてくれる浅草小学校は素晴らしい学校です。さらに、先生たちも素晴らしかったです。担任の先生、専科の先生、そして毎日はいらしていない講師の先生もみんなで力を合わせ、どうやったら皆さん一人一人が活躍できるか、一生懸命考えて工夫を重ね、準備し、指導し、学芸会を成功に導きました。子供たち先生たちみんなで創り上げた学芸会は最高でしたね。学芸会を通して学んだことを心の中で大切にしてください。

さて、2学期もあと3週間です。しっかりまとめをして、2学期を終えましょう。